

平成26年度 文部科学省委託
「スーパー食育スクール事業」報告書



倉敷市立西阿知小学校

学校・家庭・地域の連携を深め、
共に学ぶ私たちの食と健康
～食育支援システムを活用した、
食習慣の確立及び自己管理能力の育成～



岡山県教育庁保健体育課
倉敷市教育委員会



岡山県教育庁保健体育課・倉敷市教育委員会



はじめに

文部科学省では、今年度、学校における食育を充実するため、新たに「スーパー食育スクール事業」を実施しており、県内では、岡山市立操南中学校、倉敷市立西阿知小学校の2校がモデル校として指定されました。本事業は、『学校における食育を充実するため、栄養教諭を中心に外部専門家等と連携しながら、予め具体的な目標を設定した上で、大学、企業、行政機関（農林、保健部局）、生産者等と連携し、児童・生徒の食育を通じた学力向上、健康増進、地産地消の推進、食文化理解、国際交流など、食育の多角的効果について科学的データに基づいて検証を行い、食育の一層の充実を図る。』ことを目的としております。

モデル校である倉敷市立西阿知小学校では、研究主題を「学校・家庭・地域の連携を深め、共に学ぶ私たちの食と健康 ～食育支援システムを活用した、食習慣の確立及び自己管理能力の育成～」として取り組まれました。主な取組として、心身共に健康な児童を育む食育の授業、「元気もりもり体すくすく大作戦」生活ふり返りカードの活用、食育支援システム（くらしき市版ヘルスジャッジ）の活用で、学年ごとに食品や生活習慣・食習慣に関する様々な工夫に取り組まれたことにより、子どもたちの食に対する意識の向上が、家庭での食生活の変化にもつながりつつあると報告を受けています。

この度、倉敷市立西阿知小学校での食育の取組、生活習慣・食生活アンケート調査、「元気もりもり体すくすく大作戦」生活ふり返りカードの結果集計、骨密度体脂肪測定結果等についてまとめましたので、貴重な取組の成果を参照の上、各学校において、子どもたちが食に関する知識を持ち、実践する力を養うために役立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、本事業の実施にあたりましては、大阪市立大学大学院生活科学研究科教授 春木敏先生には、学校における食育の推進について講義をいただき、食育授業についても各学年に指導助言をいただきました。また、岡山県立大学保健福祉学部栄養学科 教授 川上貴代先生、准教授 久保田恵先生には、データ解析をいただき貴重な資料を御提供いただくとともに、中核となる栄養教諭等に対しまして、的確な御指導・御助言を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

また、倉敷市教育委員会等関係者の皆様におかれましては、本研究に誠心誠意お取組をいただきましたことに感謝申し上げますとともに、今後益々の御発展をお祈りし、御挨拶とさせていただきます。

平成27年2月

岡山県教育庁保健体育課
課長 福本 和宏

目次

はじめに

I	平成26年度 スーパー食育スクール事業取組概要	1
II	倉敷市におけるスーパー食育スクール事業の取組	3
	1 倉敷市の概要	
	2 倉敷市の事業取組の趣旨	
	3 取組の具体的内容	
	4 事業の経過	
	5 研究の経過	
III	生活習慣・食生活アンケート等調査について	54
IV	倉敷市におけるスーパー食育スクール事業の取組成果と課題	71
V	まとめ	73
	平成26年度「スーパー食育スクール事業」に取り組んで	75